

令和4年度 技術・家庭〔家庭分野〕 <第2学年> 年間指導計画と評価規準

技術・家庭 教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

家庭分野の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

第2学年年間指導計画（評価規準）

★ 知は、知識・技能 思は、思考・判断・表現 主は、主体的に学習に取り組む態度

月	単元名	指導内容	評価規準	評価方法
4	B 衣食住の生活 (衣生活) <14時間>	1 目的に応じた衣服の選択	知 ○衣服の社会生活上のはたらきがわかる。 ○和服と洋服の構成の違いや特徴を理解している。 ○既製服についている表示を調べ、取り扱い方を整理することができる。 ○衣服に適した温度や方法で安全にアイロンをかけることができる。 ○製作に適する布を選び、布の方向について理解する。 ○製作に必要な用具と安全な取り扱い方について知る。 ○必要なものが入る形や大きさを、自分なりの工夫を加えた製作計画を立てることができる。 ○布や用具を正しく安全に扱い、自分で工夫しながら製作を進めることができる。	定期考査 ワークシート 授業ノート 技家ノート 授業観察 提出物
5		2 日常着の手入れと保管	思 ○目的や個性を生かす着用を考え、デザイン画に記入している。 ○衣服の適切な選択について、問題や課題を解決する力をもっている。 ○衣服を収納・保管する方法を工夫している。 ○つくるものを決め、デザイン画を含めた製作計画を立てることができる。 ○完成までの見通しを持ち、製作計画を立てることができる。 ○製作計画を見直し、よりよいものにするための修正や工夫を加えることができる。 ○自分らしい工夫や改善を加え、作品を完成させることができる。	
6		3 生活を豊かにするものの製作	主 ○自分の似合う色を探そうとしたり、友達に意見をきいたりし、実験に取り組んでいる。 ○着装体験を意欲的に行い、日常生活に活用しようとして	
7				

9		4 持続可能な衣生活		いる。 ○日常着の手入れや補修に関心をもって、通学服を観察している。 ○衣服の衣服を収納・保管することに関心をもって家庭で実践しようとしている。 ○主体的に取り組み、よりよい製作を実践しようとする。 ○布や用具を適切に扱い、意欲的に製作を進めることができる。 ○布や用具を正しく安全に扱い、意欲的に製作を進めることができる。	
	生活の課題と実践 ＜2時間＞	これまで学習してきた中から、他の内容とも関連させて課題を設定し、問題解決をする。	知 思 主	○自分や家族の衣生活や環境について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。 ○よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、創造し、実践しようとしている。	
10	B 衣食住の生活 (住生活) ＜6時間＞	1 住まいのはたらきと こころよさ	知	○日本の伝統的な住まいが、気候風土に合わせたり自然の良さを取り入れたりしていることをまとめることができる。 ○住まいに必要な空間について知り、生活行為が分類できる。 ○家庭内の事故の種類とその原因を理解している。 ○持続可能な社会の実現に向けて、さまざまな住まいと住まい方の工夫があることを理解している。	定期考査 ワークシート 授業ノート 技家ノート 授業観察 提出物
11		2 安全な住まいで 安全な暮らし	思	○住まいの基本的な役割を機能的な面と精神的な面から捉えることができる。 ○自分の住まいを点検し、問題点を見つけ、自分にできることを考えている。 ○幼児や高齢者の家庭内の事故の防ぎ方や安全対策を考え工夫している。	
		3 持続可能な住生活	主	○家族が心地良く住むための住まい方の工夫をまとめることができる。 ○住まい方に対する自分なりの意見をもっている。 ○誰もが安全に暮らせる住まい方について工夫し、自分の家の安全対策で実践しようとしている。 ○にはまる学習したことを振り返りながら、持続可能な住生活を工夫し想像し、実践しようとしている。	
	C 消費生活・環境 ＜12時間＞	1 家庭生活と消費	知	○計画的な金銭管理の必要性について理解している。 ○買い物は二者間の契約(売買契約)であり、法律に基づいた行為であることが理解できる。 ○前払い、即時払い、後払いの特徴を理解している。 ○価格の決定には様々な要因があることを理解している。 ○エシカル消費について理解している。	定期考査 レポート ワークシート 授業ノート 技家ノート 授業観察 提出物
12		2 購入・支払いと 生活情報	思	○通信販売の購入時の注意点について、利用者の課題を理解し、解決方法を考えている。 ○契約時の注意点について、自分のこととして心構えを考え、生活に生かそうとしている ○支払方法について、どのようなことに気をつけたいか自分を意見をまとめることができる。 ○今までの学習を振り返りながら、環境に配慮した消費行動について問題を見出して課題を設定している。	
1		3 消費者被害と 消費者の自立	主	○既習の学習と「消費生活にしくみ」を関連づけ、振り返って改善しようとしている。 ○金銭管理と購入について、収支バランスがとれるように、主体的に取り組み、振り返って生活を改善しようとしている。 ○消費者を支えるしくみについて、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ○提案したエシカル消費に主体的に取り組もうとしている。	
2		4 持続可能な社会			
3					